



# ～進化する災害報道～ 命と暮らしを守る報道を目指して

平成30年12月4日

NHK 災害・気象センター

橋爪 尚泰

# ① NHKの位置づけ

## 災害対策基本法

### 2条 指定公共機関

**日本放送協会**その他の公共的機関、電気、ガス、輸送、通信

### 6条

指定公共機関は、業務を通じて**防災に寄与しなければならない**

## 気象業務法

### 15条

気象庁は警報事項を直ちに関係省庁、**日本放送協会**に通知

**日本放送協会は直ちに放送しなければならない**

①

# 災害報道の役割

## <災害時>

- ①被害の軽減・防止      社会の**モード**を切替える
- ②救援活動の支援      全体状況、最大被害を迅速に
- ③生活再建・復興支援      長期的に心と暮らし支える

## <平常時>

- ④安全な社会の構築      課題、記憶継承 **“想像力”**

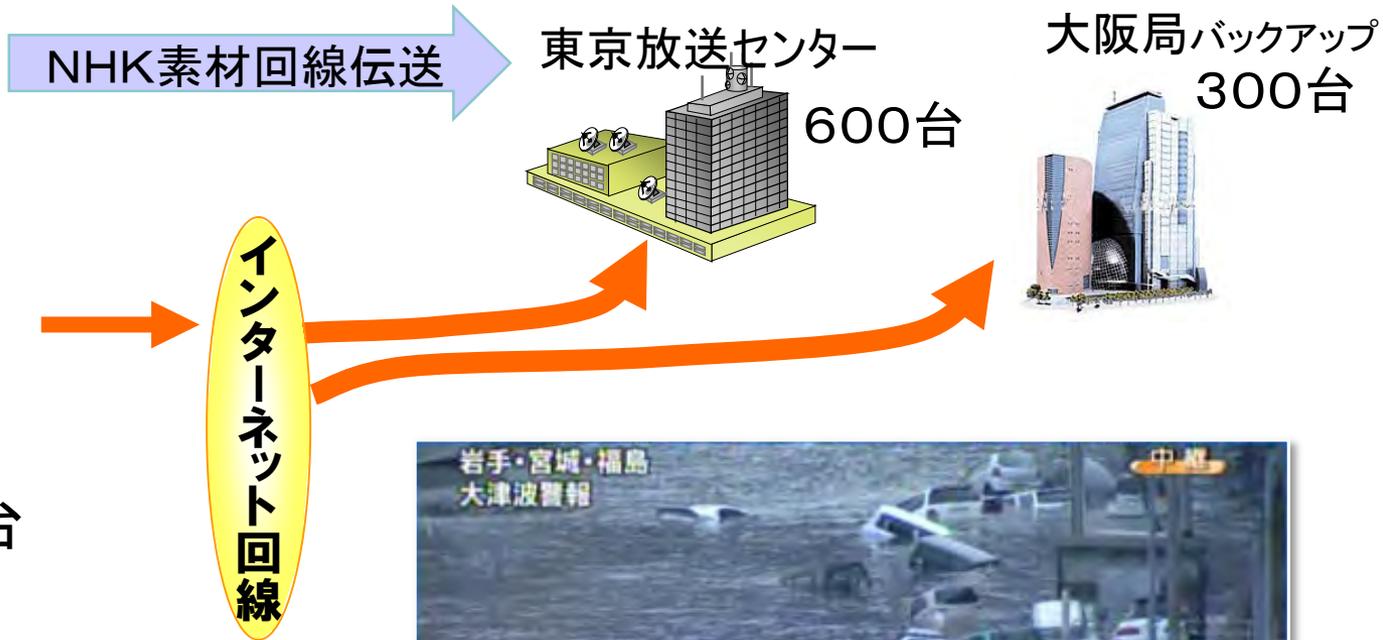
「情報で命を救う」可能性にかける

# ① ロボカメラ・モニタリングシステム

**モニタリング システム** 全国のカメラをインターネット回線で放送局へ接続  
 端末で選択して放送可能  
 24時間収録で3日間の映像保存



ロボットカメラ  
 全国に約 **700**台



15:20頃 岩手・釜石カメラ  
 津波到達を伝える



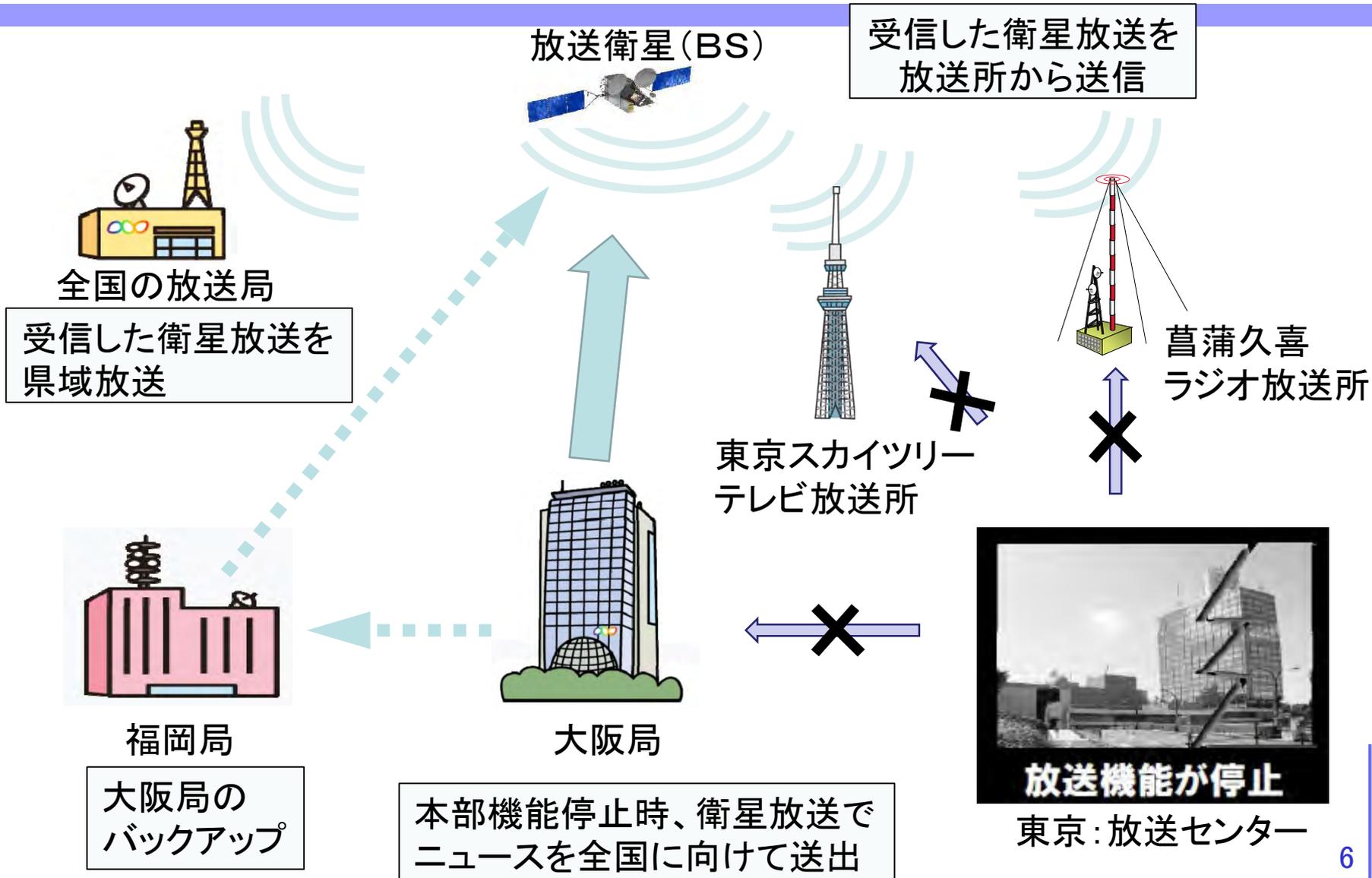
①

# 取材ヘリコプター

12基地 15機体制



# ① 首都直下に備える



## ② 地震・津波報道の見直し

### ○避難最優先

津波からの避難呼びかけを優先

### ○行動を促す強い呼びかけ

「大津波が来ます。今すぐ逃げて」

「高いビルか、海岸から遠く離れた所へ逃げること」

### ○「情報がない」の意味を伝える

「被害の情報がない」 → 「被害がない」ではない

連絡取れない地域を示す 不確実な情報も伝える

「命を守るために

事態の異常さ 強い危機感を伝える」



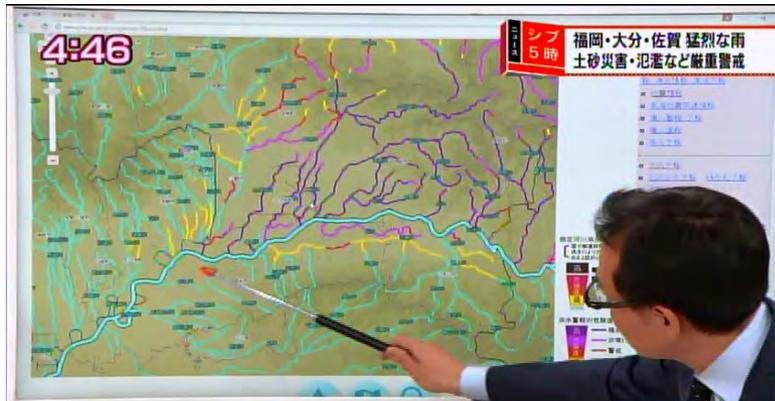
# ② 災害を「自分のこと」に



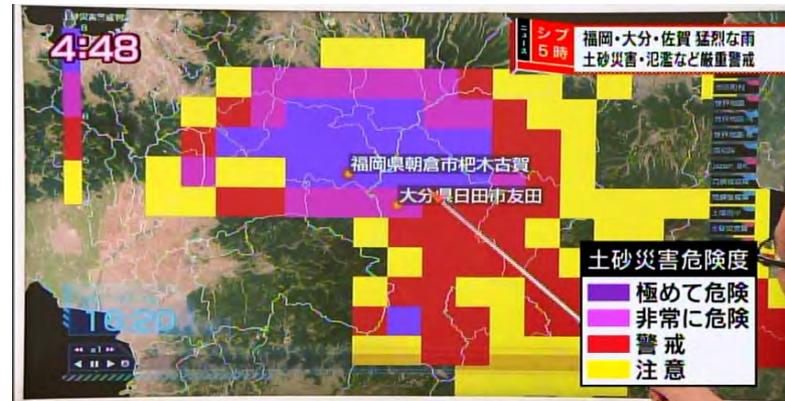
避難最優先・行動を促す強い呼びかけ



きめ細かな情報で危機意識を高める



気象状況をリアルタイムに伝える



危険性を具体的な地名を地図で

## ② ひとりひとりに向き合う

### NHKニュース・防災 アプリ (2016年6月～)

- ▽ニュース&市町村単位・地図情報
- ▽警報等のプッシュ通知
- ▽放送の同時配信・ライブ映像



### あなたの天気・防災 サイト (2018年11月～)

- ▽市区町村1927の地域ページ
- ▽天気予報は、1時間毎・10日間先まで
- ▽「警報」「避難情報」「地震・津波」が一覧



### あなたの天気・防災

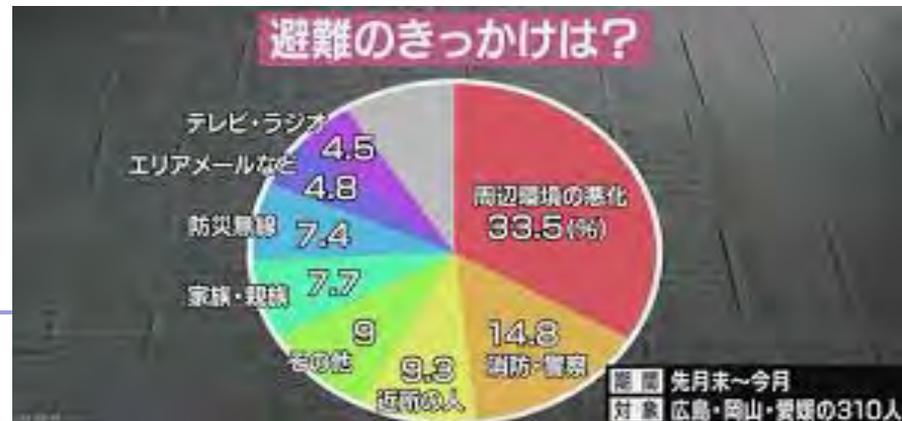
# ③ 避難情報は心に届いている？

## 西日本豪雨アンケート

○避難するきっかけは？

浸水や氾濫など環境悪化	...	33.5%
消防・警察・近所の呼びかけ	...	24.1%
家族・親族の呼びかけ	...	7.7%
自治体の防災無線	...	7.4%
<b>テレビ・ラジオ</b>	...	<b><u>4.5%</u></b>

広島・岡山・愛媛の被災者310人  
NHK取材チームがアンケート



## ② 西日本豪雨で新方針

▼報道したが200人を超える犠牲者（避難間に合わず）



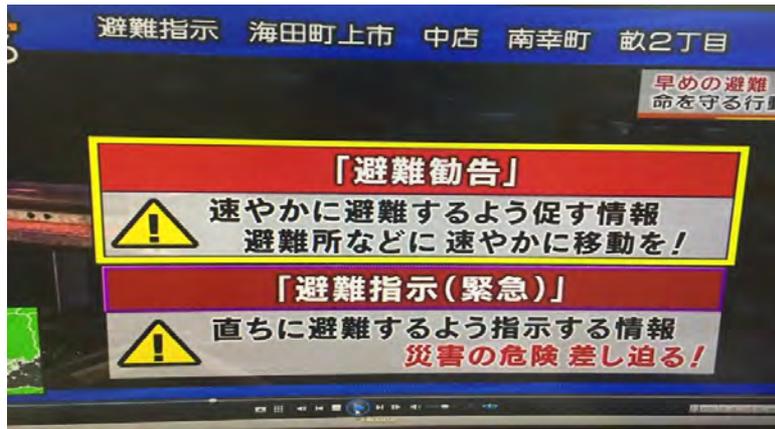
広域豪雨災害の避難はローカル放送の充実しかない

### [原則]

命の危険が迫る時、地方局での避難呼びかけ最優先

- 避難呼びかけのモードを判断しローカル放送を充実
- 避難呼びかけは「どぶ板情報」と「強いアナウンス」
- ローカル放送に邁進できる環境整備

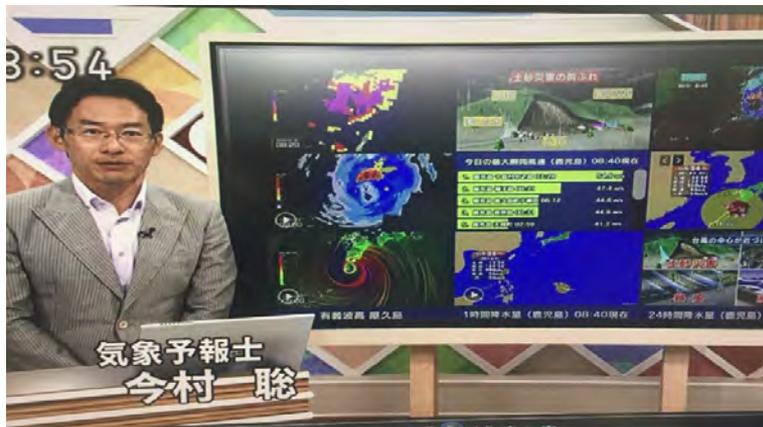
# ③ 地域放送の取組



判りやすい解説



県防災WEBへ誘導



地域密着の気象解説



2次元バーコード誘導

# 情報で命を救う可能性を追う

命と暮らしを守る情報を

取材力と新技術で集めて

多様な媒体で発信し

防災・減災につなげる